

Linux/GNU…タダで便利に使えるオープン・ソースの最新情報をのがすと損!

フリー・ソフトウェア・ウォッチ!

第 4 回

RAM&レジスタはONのまま! すぐに動き出せる低消費電力モード付きLinux3.9

中村 憲一

最新Linuxカーネル

■ バージョンアップ状況

● 最新版：バージョン3.9

2013年2月27日以降、2013年5月26日現在のLinuxカーネルのリリース状況を表1に示します。

大きな話題として、2013年4月29日にバージョン3.9がリリースされました。

● 修正版

2013年2月27日には3.7系列の最終バージョンである3.7.10

表1 Linuxカーネルのリリース状況(2013年5月26日現在, 協定世界時)

バージョン	リリース日 (協定世界時)	特徴
3.9.4	2013年5月24日	3.9系列の修正リリース
3.9.3	2013年5月19日	3.9系列の修正リリース
3.9.2	2013年5月11日	3.9系列の修正リリース
3.9.1	2013年5月8日	3.9系列の修正リリース
3.9	2013年4月29日	3.9系列の初期リリース
3.8.13	2013年5月11日	3.8系列の最終(EOL: End of Life)リリース
3.8.12	2013年5月8日	3.8系列の修正リリース
3.8.11	2013年5月1日	3.8系列の修正リリース
3.8.10	2013年4月26日	3.8系列の修正リリース
3.8.2~ 3.8.9	2013年3月3日~ 4月26日	3.8系列の修正リリース
3.7.10	2013年2月27日	3.7系列の最終(EOL: End of Life)リリース
3.4.47	2013年5月24日	長期サポート(LTS: Long-Term Support)対象のリリース
3.2.45	2013年5月13日	長期サポート(LTS: Long-Term Support)対象のリリース
3.0.80	2013年5月24日	長期サポート(LTS: Long-Term Support)対象のリリース
2.6.34.14	2013年1月16日	長期サポート(LTS: Long-Term Support)対象のリリース
2.6.32.60	2012年10月7日	長期サポート(LTS: Long-Term Support)対象のリリース

が、2013年5月11日には3.8系列の最終バージョンである3.8.13がリリースされました。特に3.8系列は、3カ月の間に3.8.2から3.8.13まで修正リリースが行われ、なかでも3.8.10は3.8.9がリリースされた同日にリリースされるという珍事も発生しました(同じ例は過去にもあったが)。

また、長期サポート(LTS: Long-Term Support)対象のバージョンも、修正リリースであるバージョン3.0.80, 3.2.45, 3.4.47がリリースされました。

● サポート対象版

2013年5月26日現在、公式にサポート対象となっているバージョンは、2.6.32.60, 2.6.34.14, 3.0.80, 3.2.45, 3.4.47, そして3.9.4の六つのリリースとなります。

したがって3.5から3.8を利用している方は至急、3.9系列への移行を強く推奨します。なぜなら、これらのバージョンはLinuxカーネルの過渡期にあたり、ARM共通カーネルへの対応など大幅な機能の追加・修正が行われており、保守が難しくなっているからです。

■ バージョン3.9の特徴

2013年2月19日にバージョン3.8がリリースされてからわずか2カ月という早さでまたリビジョン番号が上がりました。

● 対応CPU…コンフィギャラブル・プロセッサARC700やMetaプロセッサを追加

今回も組み込みシステム関連の機能追加や改善が多くありました。ARC700プロセッサ・ファミリ(750D/770D, シノプシス)や、イメージーションテクノロジーズのMeta ATP(Meta 1)とHTP(Meta 2)プロセッサに対応しました。Linux標準の仮想化技術KVM(Kernel-based Virtual Machine)をARMアーキテクチャで対応したり、Androidの開発者にはおなじみのgoldfishと呼ばれるエミュレータを正式にサポートしたりしたほか、遅いストレージのキャッシュ・デバイスとしてSSDの使用が可能になりました。